

第8回高砂市新たな学校づくり推進審議会 会議録

日 時 令和8年1月29日（月）19時00分から

場 所 高砂市役所分庁舎1階大会議室

出席者

【委員】（名簿順、敬称略）

押田 貴久、安枝 英俊、塩田 和子、坂牛 裕、坂田 克己、橋本 尚人、
三好 美弥、衣笠 彩、八木 直子、大谷 敬一郎、塩谷 右京、川由 伸一
砂川 辰義、實川 凜

【事務局】

玉野教育長、木田教育部長、吉金教育推進室長、平山学校教育室長
竹内教育総務課長、石原教育総務課主幹、長谷川教育総務課係長、井上教育総務課職員

【事業者】

ファインコラボレート研究所（米浜）

欠席者 1名

傍聴者 0名

内 容

1 開会

2 議題

（1）「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）

（2）その他

3 閉会

資 料

【事前配付】

高砂市新たな学校づくり推進審議会（第8回）次第

資料1 「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）
～計画策定に向けた方向性～

【当日配付】

資料2 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務工程表（令和8年度）

【投影資料】

第7回高砂市新たな学校づくり推進審議会資料の内容について（審議会後）

第8回高砂市新たな学校づくり推進審議会資料の内容について（審議会前）

1 開会	
事務局	先日送付させていただきました次第、資料 1 の「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）はございますでしょうか。また、当日資料として資料 2 を配付しています。 前回同様、審議会の様子を撮影させていただきたいと思いますので、支障がございましたら、事務局にお申し付けください。
会長	高砂市新たな学校づくり推進審議会条例第七条の規定に基づき、今回の審議会は公開とします。傍聴希望者はいらっしゃいますか。
事務局	傍聴の申し出はありませんでした。
会長	委員の出欠状況をお願いします。
事務局	市民代表の山里委員は欠席との連絡をいただいております。
会長	1 名の委員が欠席ですが、過半数の委員の出席をいただいておりますので、高砂市新たな学校づくり条例第六条第 2 項により、本会は成立しております。 それでは、第 8 回高砂市新たな学校づくり推進審議会を開会します。 議題に入る前に、第 7 回審議会後および第 8 回の資料について委員からいただいた意見を事務局より説明をお願いいたします。
事務局	スクリーンをお願いいたします。前回の審議会終了後にいただきましたご意見についてご紹介いたします。 資料 1 のこれからの学校像の見える化について、絵がとてもわかりやすい。多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保の中で、地域の実情を踏まえた通学方法・通学手段として自転車通学を示したイラストが用いられているが、ヘルメットの着用は描かれている一方で、たすきの着用が表現されていない。自転車通学を認めている多くの自治体では、特に夜間の視認性を高める目的から、たすきの着用が求められている。児童生徒の安全性をより高める観点からも、たすきの着用をイメージした表現として描いておくことが望ましいのではないか。というご意見をいただいています。 資料 2 の「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）について、ブロッカー貫教育組織図が他の資料や図表に比べて分かりにくいので、イメージしやすい図にならないか。アンケート調査結果について、解像度が低く文字が識別できないため、レイアウトを考慮しながら読みやすくなりませんか。地域とともにある学校の推進の方向性について、「地域展開による学校施設利用の～」とあるが、なにが地域展開かわかりにくいので、「部活動の」を追記してはどうか。また、「あり方」が平仮名と漢字で混在しているので、統一したほうがよいのではないか。 高砂 STEAM 教育、サポートルーム、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び、協働的な学び、ICT、探究的な学び、キャリア教育、兵庫型教科担任制、自校方式、給食センター方式、ウェルビーイング、コーディネーターといった用語について注釈を入れたほうがよいというご意見をいただいています。 続いて、今回の審議会資料配付後にいただいたご意見についてご報告します。 資料 1 の「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）について、構成がわかりやすく、参考資料も添付されているので、全体として見やすく整理されていると思う。 以降は委員の方がチャット GPT に対して、中間報告案における保護者の視点での疑問点と不安点を挙げるよう指示した内容となります。 疑問に感じる点について、小学校の適正配置がおおむね 4km・60 分の基準と根拠とありますが、4km・60 分は本当に低学年のこどもを想定しているのかというご指摘がありましたが、こちらは低学年のこどもの歩く速さを想定しています。 負担軽減策の具体的な条件と費用負担について、自転車や通学バスという形を考えているのであれば、きちんと明記したほうがよいのではないかというご指摘も

	ありましたので追記しています。より具体的な条件や費用負担は、再編案が出てからの検討になりますが、計画策定時には、大きな方向性は出せるのではないかと考えています。 適正規模に満たない学校の統廃合スケジュールについて、計画策定時にはおおよそどのあたりでどの学校が再編されるのかをお出しすることになると思います。ただ、その検討をいつ頃行うかという検討スケジュールについては、3月末に公表する教育委員会版でお示ししたいと考えています。 次に不安に感じる点について、低学年の長距離通学における安全と健康への不安ということで、4kmという数字を見ると、熱中症リスクなど不安を感じるという内容でございます。こちらについては、再編案を作成した上で、負担軽減策を検討したいと考えています。 老朽化した校舎での生活と統合までの維持管理への不安について、再編と併せて改修されるまでの間、雨漏りやトイレの不具合などは統合を待たずして直してもらえるのか、なにもせずに過ごすのかといった内容です。こちらについては、大規模な改修を行うまでにやらなければならないことはあると思っておりますので、整理をし、再編を待たず実行していきたいと考えています。その取り組みについては、計画内と言わず、現在も検討しています。そういった部分も計画内で分かるように反映していきたいと考えています。 大規模校によるきめ細やかな指導への不安について、校区の再編によって学校の規模が大きくなるとクラス替えができるメリットは理解できるが、先生の目が行き届くのか不安であるといった内容です。こちらについては、適正規模の範囲ならば問題ないと考えています。むしろ、小規模校化した学校より先生の数が多くなりますので、様々な視点でより多くの先生の目が行き届くと考えています。
2 議題（１）「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）	
会長	議題（１）「高砂市新たな学校づくり推進計画」の策定について【中間報告】（案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料１の１ページをお願いします。「はじめに」の内容を追加し、第４期高砂市教育振興基本計画に抜粋と追記しています。 ２ページをお願いします。児童生徒数の推移と推計のグラフは４０年後まで記載があるのに対し、学級数の推計の表は２０年後までしか表記されていないので、合わせたほうが良いというご指摘を受けて、児童生徒数の推計のグラフに２０年後を追加しています。 ３ページをお願いします。４０年間の維持・更新費について、「莫大な事業費がかかることが予測されます」と表現している部分を「更なる事業費がかかることが予測されます」という表現に修正しました。また、右側のグラフに出典を追加しています。 ４ページをお願いします。連続性のある一貫教育について、「幼稚園」の文言を削除し、右側の組織図を見やすくしました。空いた部分に、各ブロックがどの中学校・小学校・こども園で構成されているか分かる表を追加しました。 続いて、個別最適・協働的な学び、探究的な学びへの対応について、「高砂STEAM教育」の注釈を追加しています。また、「個別最適・協働的な学び、探究的な学び」の注釈についてもご指摘がありましたが、表のところに説明書きがございましたので、こちらで対応しています。前回の資料で入っていた図は削除しています。 ５ページをお願いします。給食について、「自校式給食」「給食センター調理」の注釈を追加しています。 ７ページをお願いします。不登校児童生徒への支援について、「サポートルーム」の注釈を追加しています。また、「学校運営協議会」の注釈も追加しています。 １１ページをお願いします。アンケート結果の解像度が低く非常に見にくかった

	ので、見やすくしました。 12 ページをお願いします。「地域の実情を踏まえた負担軽減策を検討する必要があることを付記します」と表現している部分を、括弧書きでバスや公共交通機関、自転車等、いま想定している負担軽減策を明記しました。 14 ページをお願いします。新たな学びへの対応のところで、「主体的・対話的で深い学び」「ICT」「キャリア教育」の注釈を追加しています。また、方向性の3つ目、「少人数授業や兵庫型教科担任制」を「兵庫型学習システム」に変更し、注釈を追加しています。 15 ページをお願いします。文章、方向性、意見聴取を安全・安心な施設の老朽化対策、給食、プールの順番に揃えとともに、文章に学校プール施設の現状を追記しています。また、「学校施設の老朽化対策については、校区の再編時期やコスト等を総合的に勘案し、効果的な整備方法を選択しながら、計画的に進める」を追加しています。これからの学校像のイラストにはあったものの、文章には載ってなかったので、追加しました。 16 ページをお願いします。「ウェルビーイング」の注釈を追加しています。 17 ページをお願いします。学校と地域の連携の充実について、前回は、「学校・家庭・地域の連携の充実」としていましたが、「学校と地域の連携の充実」に修正しました。方向性の4つ目、「地域展開による」だけでは分かりづらいので、「部活動の」という言葉を追加しています。また、「あり方」を平仮名表記ですべて統一しています。さらに括弧書きにある「利用エリアの分離」を「区画整理」という表現から変更しています。 意見聴取に「コーディネーター」とありますが、括弧書きで調整役と追加しています。 18 ページをお願いします。避難施設としての防災機能強化について、ハザードマップを追加しています。 9 ページをお願いします。これからの学校像の修正点をまとめてご報告します。左上、多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保です。「地域の実情を踏まえた通学の負担軽減策の検討」とありますが、前回の「地域の実情を踏まえた通学方法・通学手段」という表現から変更しました。その下のイラストについて、「地域の実情を踏まえた負担軽減策の検討」という表現ではなくて、「バスや公共交通機関など」「自転車など」という形で表現しています。 左下、新しい時代の学びに対応した教育環境の整備です。教育 DX の推進の部分で、左側のイラストを「外国との交流」と表現していましたが、「遠隔地との交流」に変更しています。また、右側は「タブレットや電子黒板の活用」と表現を修正しています。「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について、前回の「個別最適な学びと協働的な学びの推進」という表現から変更しました。探究的な学びの推進について、「地域人材や資源を活用した学習」を「地域の人材や資源の活用」、「産官学民と連携した高砂 STEAM 教育の推進」を「学習成果の発表」と修正しています。 10 ページをお願いします。右下、学校と地域の連携の充実について、「学校・家庭・地域の連携の充実」を「学校と地域の連携の充実」に修正し、「学校運営協議会の充実」と表現していたイラストを「地域の人の活動拠点」に変更しています。「地域とともにある学校づくり」は前回、「学校運営協議会の充実」と書いていましたが修正しています。 部活動の地域展開について、「地域住民や地域クラブが主体となった活動の実施」を「地域住民や地域クラブが主体となった活動」に修正しています。また、「防災機能強化」を「防災機能の強化」という表現に修正しました。
委員	これからの学校像について、前カゴに荷物を積むなという指導があると聞きますし、中学校でもリュックになっていると思いますので、昨今の事情には合っていないのではないのでしょうか。

事務局	実情に合わせて修正します。
会長	この中間報告案を審議会からの中間報告とし、教育委員会の方へ提出させていただいてよろしいでしょうか。
(一同、賛成)	
会長	ご承認いただいたということで、先ほどご指摘のあった部分を修正したものを中間報告としてまとめさせていただきます。本当にありがとうございました。
2 議題 (2) その他	
会長	議題 (2) その他について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2をお願いします。新たな学校づくり推進計画策定等業務工程表となります。 先ほどご承認いただいた中間報告を次回の教育委員会で報告させていただき、この内容に基づいて『高砂市新たな学校づくり推進計画の策定に向けた方向性』という形で3月末に公表する流れでいきたいと思っています。 教育委員会の方向性が出て、来年度はまずは学校施設のあり方の検討に入りたいと考えています。上段に、審議会の日程とテーマの案をお示ししており、令和8年度で7回から8回程度開催する予定で考えています。前半で学校施設のあり方を検討し、両荘みらい学園を視察する機会を設けたいと考えています。日程は現在調整中ですが、できれば学校の内部と共用部分・複合化の部分を見せたいと考えていますので、おそらく平日の午後になるのではないかなと想定しています。お仕事等もあり、参加いただくことが難しい場合もあるかもしれませんが、追って通知させていただきますので、その際にはできるだけご参加いただけるとありがたいです。 学校施設のあり方は、教育委員会の出した方向性に基づいて、改築や建替え、大規模改修における整備基準をどのように整備するかを検討していきたいと考えています。例えば、教室の広さや機能および配置、オープンスペースの考え方や使い方、図書室機能をどう充実させていくか、バリアフリーやユニバーサルデザインといった、これからの学校像を実現するためにどうすれば良いかを検討していきたいと考えています。 それに基づいて、コストシミュレーションや再編案を検討していき、おおよそ第11回あたりから再編案の検討に入ると考えています。再編案は複数プランをお出しし、さまざまな視点で比較できるように整備スケジュールやコストシミュレーションも併せてご検討いただくことを考えています。 一番下に対談動画公開とありますが、これは案でして、どのように新たな学校づくり推進計画を皆さんに知っていただくかについて色々と考えています。具体案が出ましたら、ご相談させていただきたいと考えています。 また、来年度も適宜意見聴取の実施を考えていますが、実施方法や対象は現在検討中です。再編案については複数案お出しし、地域に入っていきたいと考えています。 令和9年3月頃に再編案やあり方も含めた答申をまとめまして、答申を受けた教育委員会の方でパブコメや新たな学校づくり推進計画の公表手続きに入り、説明会も行おうと思いますので、そちらも踏まえて、令和9年9月に決定するという流れで考えています。
会長	両荘みらい学園の視察等を含めて学校施設のあり方の検討を進めていき、どんな具体的な学校の姿を描くのか検討していくことになります。 また、来年度の大きな課題として、どのような形で再編案を示していくかということになると思いますけれども、さまざまなシミュレーションをしながら具体的に議論する流れになると思います。内容が内容ですので、慎重に審議し、色々な市民の声を聞きながら、一つの方向性を皆さんとまとめられればなと思いますので、引き続き、どうぞよろしくお願いします。

3 閉会	
会長	本日の議題は全て終了しましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。
事務局	委員の皆様、ご審議いただきありがとうございました。これまで様々な審議を重ね、これからの学校像と4つの方向性を示した中間報告をまとめていただきありがとうございます。本中間報告を受けまして、教育委員会においても検討を進めてまいりまして、計画の策定に向けた方向性という形で3月中に公表してまいりたいと考えています。 次回からは、学校施設に求められる機能・基準について検討を進めてまいります。引き続き、ご意見を賜りますよう、よろしくお願いします。
事務局	委員の方々の任期は令和9年9月末まででお願いしているところであります。来年から大きな話がさまざまな議題として出てきて、これから大変になってくると思いますが、そのあたり委員に引き続きご意見を頂戴したいと思っていますので、何卒来年度も引き続きお願いいたします。 もし、状況が変わりまして、難しいというお話がございましたら、教育総務課の方にご連絡いただきますようお願いいたします。
教育長	細かいところまで見ていただき、意見を出していただくとともに、中間報告としてまとめてくださって本当にありがとうございます。 もし旅行等でこの市にはこんな学校があった、あの教育委員会ではこんな学校づくりをしているといった事例がありましたら、教えていただきたいと思います。いただいた情報をもとに足を運び、どんな学校か、どんな教育をしているかを見ながらイメージを膨らませ、学校のあり方や再編案の検討に活かしたいと思います。
会長	以上を持ちまして、第8回高砂市新たな学校づくり推進審議会を終了いたします。